

ある日の育児日記から

(80)

佐藤 和代



先日、保育園仲間が三家族集まって、我が家で飲み会をしました。少し酔いがまわってくると、お母さんのひとりが「うちのダンナは、子どもを保育園に送っていても、ずーっと下向いてて保母さんと話もしない」と文句を言いました。母さんとお父さん達、「いやあ、父親が送っていかって大変なんですよ、気をつかって」「そうそう、お母さん達はいるし、若い保母さんもいるし、緊張するんだ」。

へー、そんなもの? 「他のお父さんがきてると、つい見ちゃうね。おっ、ぎこちないな、お

れのほうがマシだななんて思ってたらさ、そのお父さん、玄関出たらほーっとため息ついて、とたんにガニマタになるんだ」

「ははは、わかるわかる、その気持ち」

うちの敬も加わって「そうだよ、男はやりにくいもんだよな。おれはさ、嬉々として子ども送ってくるお父さんはイヤだねー。いかにも新しい親子関係してます、って見笑はってるみたいで」。

でも、敬はしっかりと言われてしまいました。



サッカーにこりはした有。サッカー少年になれるかな?

「そういう佐藤さんは、いつも堂々と迎えにきてるよな」「そうそう、胸はって悠々とき。全然ブレッシュャー感じてないっ!」

まあどっちにしても、男って、面倒くさいわね。